

# 地域防災力の中核を担う消防団に関する対策【総務省】

**施策概要** 消防団が使用する車両・資機材の整備を推進

**効果** 各地の消防団において災害対応能力が向上し、住民救助活動等に寄与

総務省消防庁

全国各地の消防団

- ・救助用資機材等の整備に対する補助事業
- ・救助用資機材等を搭載した消防車両の無償貸付事業

## 全国的な対策と効果

**対策** 各地の消防団に対し、資機材整備の補助や車両の無償貸付を実施

令和元年度～6年度の実績

	団体数	執行額 (百万円)
令和元年度	延べ334市町村	3,051
令和2年度	延べ751市町村	1,394
令和3年度	延べ332市町村	1,051
令和4年度	延べ283市町村	2,166
令和5年度	延べ247市町村	1,482
令和6年度	延べ243市町村	2,175

救助用資機材等を搭載した消防車両イメージ



補助対象資機材の例



※1 油圧切断機及びチェーンソーは、電気で駆動するものを含む。  
 ※2 救命胴衣等とは、救命胴衣のほか、浮環及びフロッティンググローブをいう。  
 ※3 切断防止用保護衣等とは、切断防止用保護衣及び制動性手袋をいう。  
 ※4 特定省電力無線局又はデジタル簡易無線局の携帯用無線機をいう。

## 5か年加速化対策の効果

消防団による車両・資機材を用いた災害対応の例

- | ① | 令和6年能登半島地震          | 救助用資機材等を搭載した消防車両を無償貸付      | ・ 巡視・警戒活動 (石川県能登町) や、管轄地域の被害情報の収集 (新潟県上市等) を実施<br>・ 搭載資機材の投光器を用い、夜間の救助活動を実施 (石川県羽咋市) |
|---|---------------------|----------------------------|--|
| ② | 令和6年7月大雨 (山形県鶴岡市)   | 高視認性活動服を配備<br>投光器、排水ポンプを配備 | ・ 団員の安全を確保した上で、各種活動を実施<br>・ 夜間の排水作業を実施   |
| ③ | 令和6年台風10号 (鹿児島県湧水町) | チェーンソー、切断防止用保護衣等を配備        | ・ 通行に支障のある障害物の撤去   |
| ④ | 令和7年8月大雨 (熊本県熊本市)   | 高視認性雨衣やボート等を配備、消防車両を無償貸付   | ・ 救助活動や排水活動を実施   |



## 消防団による資機材を使用した災害対応の例



高視認性雨衣

ボート



※ 写真は熊本県熊本市提供

- 令和7年8月の大雨において、熊本市内で1時間雨量110mmを超える豪雨を観測
- 河川が増水し、各地で越水による床上浸水等の被害が発生
- 消防団設備整備費補助金を活用して整備した高視認性雨衣やボートを活用し、人命救助等を実施
- 各地の消防団の活動において人的被害の軽減に貢献

## 事業の背景

令和2年7月に熊本県で発生した豪雨など、昨今の頻発化・激甚化する災害に対応するとともに、南海トラフ巨大地震など今後発生が危惧される大規模災害に備えるため、消防団の資機材の充実をはじめとして、消防・防災体制の更なる強化を図る必要があります。

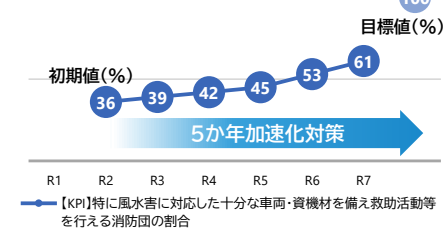
## 事業の内容

消防庁では消防団設備整備費補助金により、消防団活動に必要な救助用資機材等の整備を促進し、消防団の災害対応能力の向上を図っています。また、消防団車両の無償貸付事業により、機動性の高い小型車両を中心に、救助用資機材等を搭載した消防車両を自治体に無償で貸し付け、訓練を実施することにより、消防団の災害対応能力の向上を図っています。

### ■ 予算額(国費)(加速化・深化分)

R3	R4	R5
13億円	22億円	22億円
R6	R7	累計
22億円	23億円	102億円

### ■ 目標達成の見通し



(1) 人命・財産の被害最小化

(2) 交通・ライフラインの維持

2 インフラの老朽化対策

(1) 3 国土強靱化に関する施策を効率的に進めるためのデジタル化等の推進

(2) 災害関連情報の高度化